

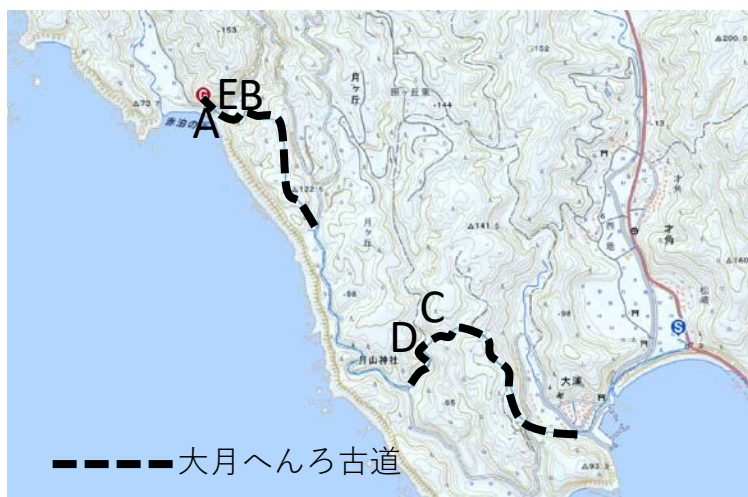
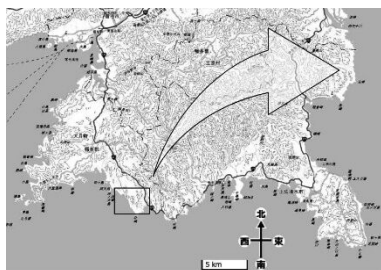
令和3年度 活動実績

団体名	大月町
-----	-----

○高知家遍路道プロジェクトを活用した「大月へんろ古道」の整備

2004年に有志ボランティアにより復元された「大月へんろ古道」は、町内のNPO法人により継続的に整備されてきましたが、復元から17年を経過して日常的な整備だけでは安全で快適な通行を維持しきれなくなっていました。そこで高知県がふるさとチョイス（ガバメントクラウドファンディング）により寄附を募り、集まった寄附金を活用して町からNPO法人に委託して以下の遍路道の整備を行いました。

- (1) 橋の架け替え (A 地点)
- (2) 崩壊地の整備 (B・C 地点)
- (3) 倒木等の撤去 (D・E 地点)
- (4) 案内板類の設置
(全域に33ヶ所)



(1) 橋の架け替え

A 地点に架かっていた橋が老朽化し、通行上危険な状態だったので新たな橋に架け替えました。



(2) 崩壊地の整備

降水時に谷水により洗堀され、路肩が崩れて通行上危険になっていた山道に、山中の倒木芯材を利用して階段や洗い越しを設置し、路肩に倒木を置いて補強したうえで道の山側を手掘りして、危険なく歩けるように拡幅しました。また、石段が崩れていた箇所を修復しました。



(3) 倒木等の撤去

古道上に倒れ掛かっていた倒木や古道脇で立ち枯れていた樹木を撤去しました。



(4) 案内板類の設置

17年前に設置された木製の道しるべや丁石の案内板が老朽化し、あるいは朽ちて失われていたため、新たに設置し直しました。



丁石案内板 (五丁)



(十六丁)



(十八丁半)



道標 (へんろ古道入口)



道標



道標



案内板 (柴折りさん)



(備長炭 炭窯跡)



(古い標石)

○大月小学校3年生による遍路授業：多国語対応のしるべ札下げ

大月小学校3年生の遍路授業の一環で、日本語、英語、韓国語に対応したしるべ札を遍路道のあちこちに下げました。



遍路道を歩いてみる



韓国語のしるべ札



英語のしるべ札